桐生市立菱小学校通級指導教室（言語・難聴）

ことばときこえの教室だより

2026
No. 5

2学期スタート！ 新しい通級児を迎えます（計64名）



2学期より28名の新しい通級児童が増え、合計64名でのスタートとなります。
在籍校の先生方には大変お世話になります。各校へ「指導開始のお知らせ」を送付しました。
ことばときこえの教室は、放課後指導なので、指導開始時刻に間に合うよう帰りの会の免除等、ご協力お願いいたします。

通級吃音学習会 ご参加ありがとうございました (8/3)



菱小 校長あいさつ



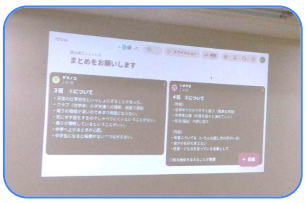
教室紹介



講義
「吃音の基礎知識」
「吃音児の現状」
「合理的配慮」



グループ協議による情報交換



各グループのまとめを
『Padlet』で共有

参加者の感想（一部抜粋してご紹介します）

吃音は、（周囲は困らず）本人が困っていることを知った。

本人の理解と周りの理解の両方が大切だと分かった。

吃音のある児童を担任したことはないが、今後、接する機会があるかもしれないと思い参加した。

たくさんの先生方に ご参加いただきました。ありがとうございました。

「吃音」の理解者が
先生に増えると…



・理解授業ができる
・アドボカシーの役割ができる

⬇

合理的配慮へ

すべての子ども達が 吃音を正しく知る

吃音があっても 安心





いろいろな人がいる

ありのまま 受け入れられる

認め合える 学級

Well-being ウェルビーイング
個人を尊重できる 健全な集団
みんなが 居心地よい環境

群馬県教育ビジョン

吃音(きつおん)について

言いたいことがあるのに

ことばがスムーズに出ない　　タイミングが合わない

（例）

「あ あ ありがとう」	「あーーりがとう」	「･･･ありがとう」
【連 発】 れんぱつ	【伸 発】 しんぱつ	【難 発】 なんぱつ

心理的負担増

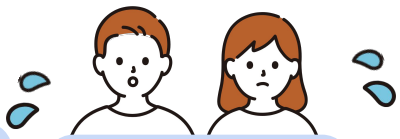
※次のような症状もみられることがあります
- 「えーと」「あの」「なんか」を入れる
- 「げんげんげんきです」など 一部をくり返す
- 「げ・んきです」と とぎれる
- ことばを 出そうと 手をたたく 顔に力が入る など（随伴症状）

吃音を隠そうとすると、比較的楽な吃音の【連発】から話しにくい【難発】に変化することがあります。
そのことで心理的負担も増えます。

楽な吃音のままでいられる安心できる環境 重要!

困難さの特徴

- 周囲は 困らない
- 話さないと 目立たない ＝困難さが わかりにくい
- ツールが ない
- コントロール できない
- 言えるときと 言えないときがある
- 本人なりの 困難さが ある
- 努力不足ではない
- 誤解を 受けやすい



学校生活で困りやすい場面と配慮・対応の例

困りやすい場面	配慮・具体的な対応
日直の号令・司会・挨拶 決まったセリフを言う （健康観察、劇、呼びかけ、返事など）	・二人日直にする、先生が一緒に言う。 ・複数のセリフを用意し、本番はどれを言ってもよい。 ・事前に本人や保護者とよく相談する。
授業中（音読・発表） 一人での音読や全体発表	・音読は二人～数人で行う、出だしを先生が一緒に読む。 ・吃音があっても発表したい子もいるため、個別に希望を確認する。
時間制限のある暗唱 九九などを早く言えたら合格（タイム計測）	・早さ（時間）ではなく、正確さや内容で評価する。 ・流暢さを求めない。
グループ学習での会話 タイミングよく発言できない	・発言の順番を決める、話したいサインを決める、日頃からゆったりと最後まで話を聞く姿勢を大事にする。

望ましい対応

- 話し終わるまで ゆったりとした態度・口調で待つ
- 相づち、復唱などしながら伝わっていることがわかるように
- 本人と困っていることがないか定期的に個別確認する

避けてほしい指導・声かけ

- ×「ゆっくりでいいよ」 ×「落ち着いて」（話し方のアドバイスは不要）
- ×「気にならないから大丈夫」（本人の困難さを軽視しない）

9・10月の予定

9月 1日(火)　2学期指導開始
10月19日(月)　菱小運動会 振替休日のため指導お休み
※在籍校の振替休日も 指導お休みになります
10月28日(水)　群馬県民の日のため 指導お休み
10月(日時未定) 吃音のお子さんをもつ保護者懇談会

その他お知らせ

毎月1日：安全点検
日時未定：避難訓練

